

2018年(平成30年)3月14日(水) 第30回 例会 (通算2782回)

国際ロータリー 第2580地区

(今月のロータリーレート:1ドル108円)

# 石垣ロータリークラブ週報

No. 2647

会長: 大浜 一郎 副会長: 遠藤 正夫 幹事: 宮城 早人 副幹事: 池城 貞光



RI 会長:  
イアン H. S. ライズリー

ロータリー:  
変化をもたらす

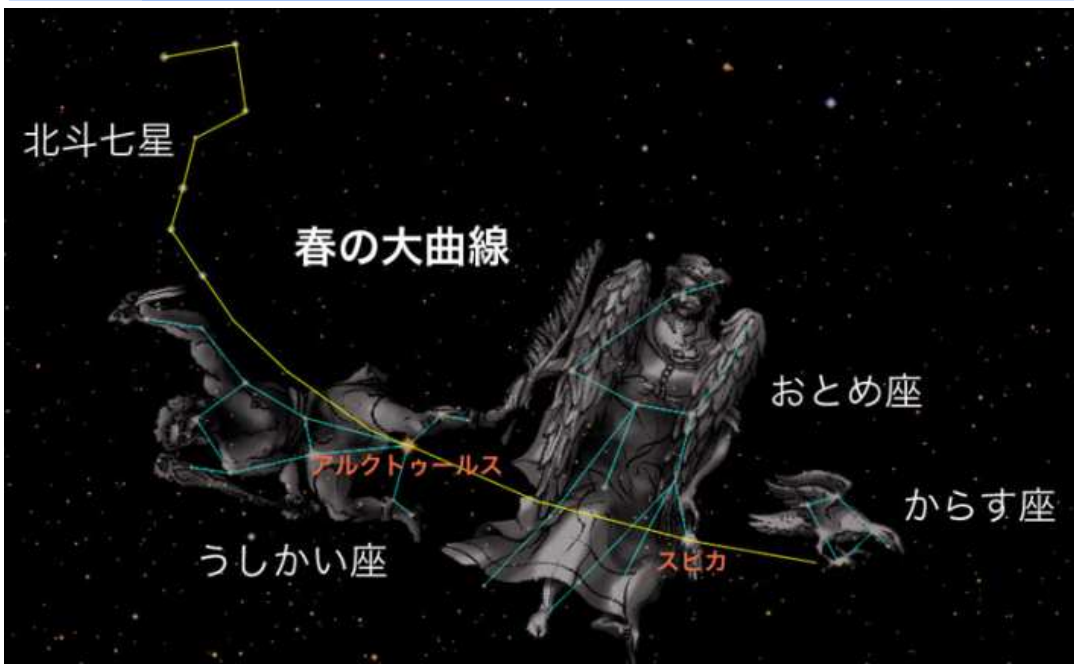
地区ガバナー: 吉田 雅俊氏「感動と調和」

## ●クラブテーマ「絆とおもいやり」

例会日 水曜日 12:30~13:30  
例会場 アートホテル石垣島(0980)83-3311  
事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4  
TEL/FAX(0980)83-2917  
http://ishigaki-rotary.jimdo.com  
E-mail ishirotary@ninus.ocn.ne.jp

### ◎春の大曲線

北斗七星の柄の部分にあたる三つの星からカーブを描くように線を伸ばしていくと、うしかい座のアルクトゥルス、更にのぼしていくとおとめ座のスピカにたどり着きます。これらを結ぶ大きなカーブを春の大曲線と呼び、春の星座のガイドラインになっています。



## 2月14日(水)第27回(通算2779回)例会報告

<司会進行> 櫻井 浩一

ロータリーソング・「手に手つないで」「四つのテスト」

ソングリーダー・仁開 一夫

ゲスト・嶋村 文男氏(東京東江戸川 RC)

ビジター・小林 充氏(那覇西 RC)

メイクアップ・・・上勢頭保・南波正幸・前原博一

小林昌道・今西敦之

### 出席報告

|           |        |
|-----------|--------|
| 会 員 総 数   | 43名    |
| 出席義務会員    | 42名    |
| 出 席 数     | 28名    |
| 欠 席 数     | 15名    |
| 出 席 率     | 66.67% |
| 通算出席率(2月) | 65.48% |



## 本日のにこにこ

- ・久しぶりの石垣島です。本日はミャンマーの卓話をさせていただきます。宜しくお願いします。(嶋村 文男)
- ・嶋村さん卓話ありがとうございました。(大浜 一郎)
- ・嶋村様、本日は貴重な卓話を有難うございました！(前木 繁孝)
- ・嶋村文男様、有難う御座いました。(大濱 達也)
- ・嶋村さん、卓話有難うございます。(宮良 幸男)
- ・2月11日創立46周年、社員へ感謝。(新城 永一郎)
- ・嶋村さん卓話有難うございました。(大浜 勇人)
- ・嶋村さん今日は有難うございました。小林さんもメイクアップ有難うございました。(宮城 早人)

|     |         |              |
|-----|---------|--------------|
| BOX | ¥ 9,000 | (累計¥151,000) |
| コイン | ¥ 2,914 | (累計¥ 63,916) |
| 合 計 |         | ¥ 214,916    |

## 会長挨拶：大浜 一郎

今日は2月14日バレンタインデー、義理チョコくらいは貰った人いるかと思います。最近では義理チョコも止めようじゃないかという風潮もあると聞いております。毎回申し上げますが、この2月は例年になく寒い気がします。インフルエンザも収まっていないようですので、気をつけて頂きたいと思います。最近花蓮で地震が発生しまして、石垣市でも義援金の口座を作ったり、ご寄付を送っている方もいらっしゃると思います。安倍首相も「台湾加油」という色紙を書いてフェイスブックで流したり、こういった時だからこそという事で、日台の民間の関係の強さ、人とのつながりの強さを感じたりしています。被害が拡大していないのは非常に良かったと思います。

今日、ネットニュースで東京外語大の教授が日本の国際的な地位が、非常に下がっているという記事がありました。PKOを含めて、色んな所で日本が国際貢献をしていると、私たちは思っていました。世界の見方は必ずしもそうでないという事でした。中国にせよ、韓国にせよ、別の意図もあるかと思いますが、国際貢献という形で行っている。それを現地の人も受け入れて、それが意味世論になっている。どうしても日本のような貢献が、地味に映っているという事が論じられていました。しかしながら、ロータリークラブや色んな団体がミャンマー、ラオス、カンボジア、モンゴル等々に民間の資金を活用し、また自ら拠出して学校建設プロジェクト、水のプロジェクトを行っています。沖縄の人が関連している、ラオスの人たちと泡盛に似た地酒を造るという特集をやっていましたが、日本が色んな分野で貢献しているという事を、もっと喚起できるような形になってほしいと思います。

今日は嶋村さんがお見えになりまして、ミャンマー小学校建設プロジェクトについてお話して頂きます。私たちも海外との姉妹締結も目前に控えて、グローバル補助金や色んなものを使って、考え方の幅を広げる事ができるように、より成長できればいいのかなと思います。大きなヒントがあるかと思うので、皆さんで嶋村さんの話を拝聴し、そして勉強できればと思っております。

## ゲスト卓話：嶋村 文男氏

東京東江戸川ロータリークラブ



### 「ミャンマー小学校建設プロジェクト」

私は前々年度、クラブの会長を承っておりまして、その前が地区の米山委員を4年やらせて頂きました。米山委員をある程度理解をする中で、いつかカウンセラーをやってみたいと思っていましたので、会長の時に志願をして、カウンセラーをしました。その時に出会った米山奨学生のモトウザチョウさんという、当時日本女子大学の4年生で、26歳のヤンゴン出身のかわいらしい女性ですが、彼女が今回のプロジェクトのきっかけでした。クラブで一昨年の6月に彼女の歓迎会をした時に、「私の夢はミャンマーの田舎に小学校を造る事です。」という話をされて、その時に皆でやってみようかという話が盛り上がりました。ロータリー財団はその前年までは、学校建設だと建物等の費用は出なかったんですが、私共が申請する時から教育施設に関しては、建物の建築費は出るという事になりましたので、地区補助金を申込んだ次第です。その後、彼女の縁で、ミャンマーで活躍しているボランティア団体と交渉を続けて、2月10日に完成・引き渡しを行いました。

ミャンマー小学校建設プロジェクト、事業母体は私どもの東京東江戸川 RC です。仁開さんにミャンマーに行きますけど、と言ったら「ぜひ俺も連れて行ってくれ」という事で、ミャンマーに飛んだのが昨年11月です。メンバーは前木直前会長、仁開さん、大浜 勇人さんです。まずミャンマーに着いてから、ヤンゴンまで成田空港から7時間半くらい。現地時間の4時半くらいに着いて、まっすぐ日本人学校に行って、それからヤンゴンにあるヤンゴン RC にメイキャップに行きました。ヤンゴン RC には色んな方がいらっしゃるんです

が、元外務大臣とか政府の高官経験者、大手企業の代表とかどちらかという硬めのクラブです。会長がミャンマーのマイクロソフトの元社長という、シャン族の方でした。この日はスウェーデンとかアメリカとか色々な国のの人たちが来ていました。

米山奨学生のチョウさんから紹介されたフォーエバーボランティアグループという、20歳から35歳くらいまでのボランティア団体は、今まで貧しい村に行って、学校を造ったり、病院の診療所みたいなのを造って、そこの指導をしたり、パワフルな団体でした。我々は彼らに託したという事で、彼らのハートを信じてこのプロジェクトを進めたわけです。

2カ所学校建設予定地をフォーエバーさんが選んでくれて、1つ目のウェイティー村を訪ねました。ウェイティー村はヤンゴンから車で2時間半くらい北に向かい、車を降りてから15分、真夏の暑い所を歩いて行きました。村に行くと子供達がたくさんいて、ほとんどの子が裸足の状態でした。この村はかなり大きな村で、3つの部落から子供達が集まってきます。学校の中はホワイトボードはありますが、土間に木の椅子と机があるというような状況でした。村の子たちは、ぜひ村に支援をして学校を造って欲しいという、ぎらぎらとした目が印象的で、大変なもてなしを受けました。

3日目にもう1つの村、ティーテュー村を見に行きました。実際今回はティーテュー村に新しい校舎をつくったわけですが、土曜日でしたが、わざわざ集まってくれました。この学校は5歳から9歳、幼稚園の年長から小学校4年生くらいまでが小学校、それから中学校は4年、その後3年という事で、16歳で卒業します。世界的基準は18歳なので、どうしてもこの2年間はブランクになるので、そこをどうにか1年ずつミャンマーの新しい教育改革を進めているようです。この学校は葉っぱでできた所でした。学校を見た後、大歓迎されました。ジュースを持って、さすがに食べちゃいけないという事で、何も食べませんでしたが、大変な歓迎を受けました。その夜、じゃあ何処にしようかという事で、ティーテュー村に学校建設を決めました。地区補助金が40万なんですけど、学校建設が60万という事で、私が9月に行った時にまとめまして、後日こちらから送金しました。

そして11月に建設をスタートして、今年の2月10日に完成、引き渡し式を行いました。『2018年2月10日、東京東江戸川RC、作業フォーエバーボランティアグループ』という事で、プレートもちゃんと付けてくれて感激をしました。歓迎の

会でモートウダチョウさんが、涙ながらに自分の夢が叶ったという事で、熱く子供達に声をかけていました。完成・引き渡し式には、16名で訪問し、その中には家族と小学校2年生の男の子も一緒に行きましたし、ローターアクトクラブからも4名一緒に行って、様々な活動をしたわけです。最初は私も会長も涙、涙だったんですが、子どもたちの楽しく、喜んでいる姿を見て、笑顔で記念撮影をしました。

今回私たちは地区補助金と別に、前回行った時に子供達がビニール袋で教科書とかを持って来るのが分かりましたので、フォーエバーさんをお願いして、リュックサックとブルーのキャップをプレゼントしました。生徒は54名なんですけど、先の事もあるので100個の帽子、100個のリュックサック、1セットで750円でした。今回、途中で仲介に入るというのがなくて、全部フォーエバーさんが直接村の人にお金を渡して、村の人が色々な資材を購入して、それで建てるというやり方だったので、60万で出来ました。そういう意味では、村の人の心がこもっているという事を強く感じました。

今回モーさんとの出逢いもそうですが、キンさんという女性がいるんですけど、彼女との出会い、この子が非常に優秀で日本語しゃべれます。彼女が一昨年日本にいたので、彼女とモーさんとうちのメンバーで打合せをして、ミャンマーの建設地をどこにするかとかいう話をしました。当初5・60万で出来るという事で、地区補助金プラスαで出来るなと思っていましたが、ミャンマーの情勢が変わって、70万、80万になるかもしれませんという事になりまして、そうするとやっぱりクラブの財政的な問題もありますので、急ぎょ私が9月に行って、なんとか60万に納めて下さいというお話をしました。私たちを選んでくれるんだっからという事で、60万でやって頂いたという事があります。ですから海外の支援活動はなかなか自分達ではできませんので、どんなパートナーを選ぶか、どんなパートナーと出会うか、そういう事も大事だなという事を強く痛感しました。

実はこの学校は電気がありません。村に電気がないんです。ですので、来年の10月にクラブが50周年を迎えますので、クラブの50周年記念事業で、この小学校に太陽光発電を付けてテレビモニターを設置、そこに映像教育のコンテンツを提供しようという話を今進めております。ですからまた私は9月くらいにもう1回行って、その辺の作動チェックをして写真と動画等を撮って、もう



1 回ミャンマーに行くと言う事を考えています。ミャンマーのヤンゴン市内はものすごく発展していて、十分な教育設備がありますが、ティーテー村のような、ヤンゴンからだいたい 270 キロ、3 時間半くらいかかる場所なんです、こういう所は本当に厳しい状況なんです。

思った事の 1 つは、子ども達が十分に勉強できる場所がない、雨風がしのげないわけです。壁がない所で勉強していたんです。前回の学校がだいたい 5m×14m くらいの場所でしたが、今回は 30m×12m という倍近くになりましたので、今までは午前中と午後という勉強体制でしたが、広く使えるという事で、勉強が進むかなと校長先生も喜んでいました。面白い事に、このように学校設備が整いますと、国が支援をしてくれるそうです。生徒が 54 名で先生が今の所 3 名ですが、これから増えると言っていました。

今回のプロジェクトを通じて、ミャンマーの人達の優しい気持ち、インパール作戦の日本人が例えば亡くなった後、茶毘に付さないのを、逆にミャンマーの人たちが茶毘に付してくれたという事が、ビルマの堅琴のストーリーにあります、その逆に何も私たちは出来ませんが、先人の想いを込めたプロジェクトが出来たかなという気持ちで、感謝でいっぱいでございます。今回は米山奨学生との縁があって出来たわけですが、会員一同、本当に皆気持ちの良い奉仕が出来たという事で、大変喜んでます。次年度の申請から地区補助金が 40 万円から 60 万円になります。ですので、先ほど会長が言っていましたけど、国内だけでなく、海外で出来る支援もあると思いますので、そんな事を考えながら増々石垣 RC が発展し、様々な活動で活躍される事を祈念して卓話とさせていただきます。本日はご清聴ありがとうございました。

## ～例会風景～

那覇西 RC の小林さんがメイクアップにご来会下さいました。



## 石垣 RC 創立 57 周年船上パーティー

3 月 7 日 安栄観光の船にて

安栄観光の船とアートホテル石垣島のケータリングで贅沢な船上パーティーでした。

★五七周年

ゲスト・太田垣咲斗君のハンドドラム演奏

ソファの座り心地もバッチリ♡

石垣 RC と会長の誕生日ケーキ



しっかりとサンセットも見れました。